

ダムの有効活用への取り組み（事前放流）

近年の集中豪雨の発生頻度の増加に対応するため、平成25年度から生野ダム、引原ダムにおいて、共同事業者の利水事業に支障を与えない範囲で、利水容量の一部を洪水前に放流し、一時的な洪水調節容量の増大を図る「事前放流」の取り組みを行っています。また、ゲートレスダムにおいても、令和2年度から事前放流の試行を行っています。

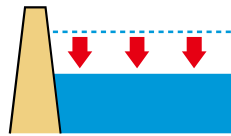
■平常時



貯水施設

大雨が降りそう…

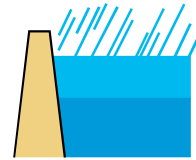
■大雨に備えて



事前放流を行い、洪水調節容量を増大

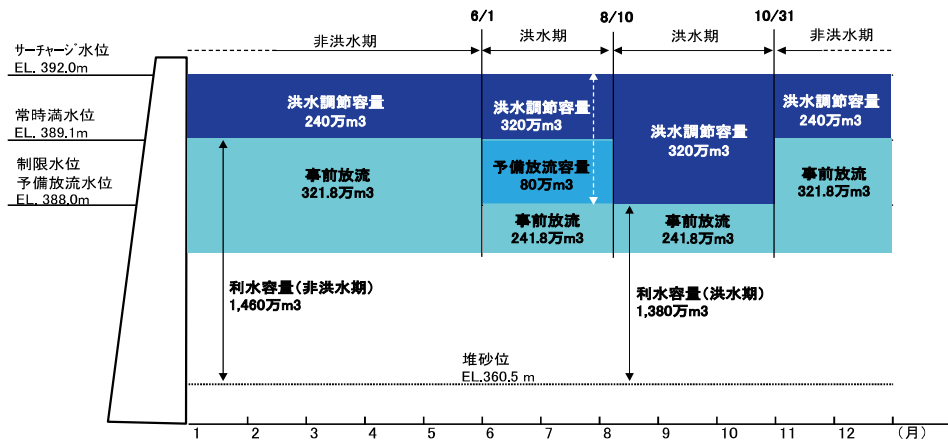
大雨

■大雨時

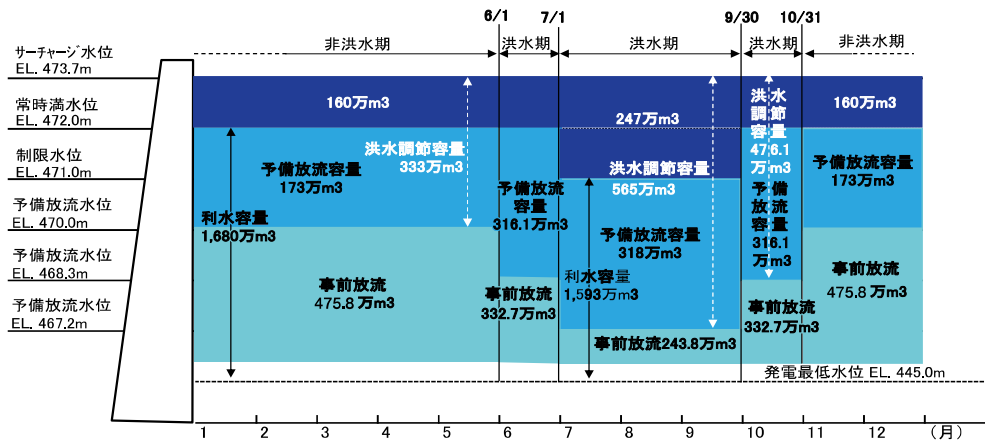


雨水を貯留

■生野ダム 年間の容量配分図

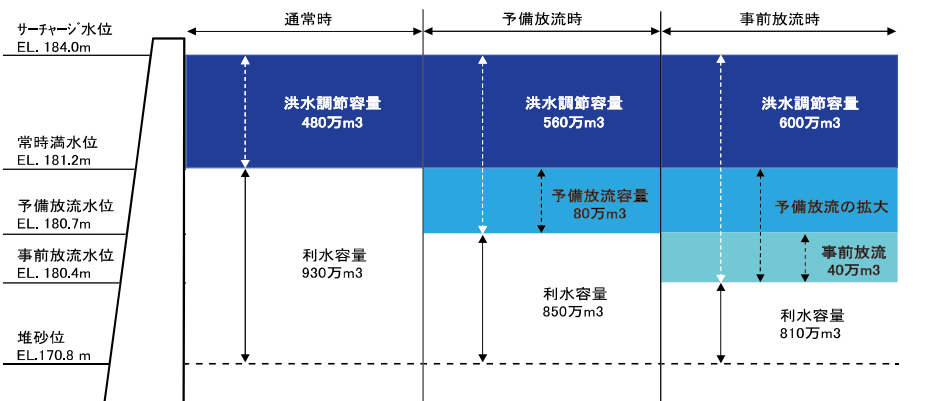


■引原ダム 年間の容量配分図



このほか青野ダムでは、予備放流の拡大に向けた事前放流の試行の取り組みを行っています。

■青野ダム 容量配分図



※同年同一の貯水池運用

※予備放流容量：通常時は、利水容量として使用し、洪水前に放流することで洪水調節に使用する容量（洪水調節容量、利水容量のどちらにも含まれる容量）